

# 予算審査特別委員会の報告

## 下市駅南出入り口整備などを予算化

付託された令和2年度予算を分科会方式で審査し、3月16日全体会で15議案すべてを賛成多数で可とすべきものと決しました。

主な新規事業では、JR下市駅南出入り口整備、胃がん検診にあわせて実施するピロリ菌検査の助成金、読書結果の可視化により読書を推進するための読書履歴通帳の導入、新規漁業就業者の研修費用補助金、町道末長妻木線改良工事などの事業である。

事務事業では、会計年度任用職員制度の開始により、これまで嘱託、臨時職員、一部の非常勤特別職員が会計年度任用職員になる。

主な継続事業は、地域自主組織育成支援事業、同和対策事業の地区活動費補助、インフルエンザ予防接種費用助成対象年齢を18歳まで拡充、防災監設置、観光振興のための

地域おこし協力隊員費、大山寺旧境内石垣復旧工事、また、令和2年度途中で社会福祉協議会の福祉充実残額がなくなることから人件費などの補助金が再開される。

国民健康保険特別会計予算では、本年度も基金1000万円を取り崩し、資産割を廃止した保険税の激変緩和をはかっている。

水道事業会計予算では、令和元年度に調査した名和第3水源ほか用地取得、同じく名和第3水源さく井業務、中山第2配水池測量設計業務などの委託料、ま

た長田低区配水池連絡管接続工事などである。

特別委員会では、可決にあたり次の付帯意見をつけています。

### 付帯意見

#### ① 防災監の業務内容や役割を明確に

平成31年度からの継続事業だが、業務内容・役割ともに住民に見えにくく、行政が求める防災力強化に効果的か不明瞭である。

また、さまざまな災害に対応できるような人材の採用を検討するよう求める。

#### ② 雪不足および新型コロナウイルスによる経済被害への対応について

雪不足でスキー場の入り込み客数は5年前の1/4、さらに新型コロナウイルス感染で町内産業や観光関連事業者への打撃は大きい。

町は被害報告をまとめ、必要な支援を最大限に行い観光局の体制強化や観光地域づくり法人「DMO」の設立になるよう、積極的な取り組みを求める。



整備予定の下市駅南側